

お持ちいただくサンプルについて

・基本的には SDS-PAGE で分離後、切り出したゲル片中の目的蛋白質の同定を行います。用意していただくサンプルは、目的の蛋白質を含むゲル片を切り出してエッペンチューブに入れた状態でお持ちください。なお、こちらにお持ちになるまでに時間がかかる場合は冷蔵（数日）もしくは冷凍（-20℃、長期）しておいてください。

・サンプルは中央実験室の二宮もしくは杉原へお渡しください。単に蛋白質の同定でしたら事前のメールでの連絡等は不要ですが、特殊な解析が必要なサンプルはあらかじめご連絡、ご相談ください。

・SDS-PAGE の際にはサンプルとともに、100ng(~1.4pmol)及び 10ng の BSA を同時に泳動してください。染色後の画像は、サンプルとともにお持ちいただくか、又はメールで送付してください（蛋白量の見積りに使います）。BSA 以外の蛋白質でも結構ですが、必ず定量したもので同程度の量をご用意願います。

・染色は CBB 染色、銀染色、SYPRO Ruby 等、いずれでも結構です。銀染色の場合は必ず質量分析用を使用してください（グルタルアルデヒド不含のもの）。Wako, Invitrogen, Bio-Rad などからキットで販売されています。

サンプル調製の際の注意点など

微量の質量分析で一番問題となるのはケラチンの混入です。ゼロにするのは通常の研究室環境では難しいですが、下記の点に注意してサンプル調製を行ってください。

・使用するチューブ・チップ類は現在使用しているもので結構ですが、オートクレーブ滅菌したものは使用しないでください。できれば開封直後のものを使用してください。

・作業時は手袋・キャップ着用。出来る限りクリーンルームかクリーンベンチで操作を行う。SDS-PAGE 時の試薬は共通の物や今まで使用していた物は用いず、質量分析専用の物を用意し使うこと。

・中央実験室内に SDS-PAGE 以後の操作が行える機器やスペースが用意してありますのでご利用ください（特定化学物質取扱室及び P2 実験室）。その他、細かい操作、注意につきましては下記の書籍を参考にしてください。

- 最新プロテオミクス実験プロトコール
谷口 寿章 著 秀潤社
- できます!プロテオミクスー質量分析によるタンパク質解析のコツ
小田 吉哉、夏目 徹 著 中山書店

また、質量分析機を使用した論文のリストおよび PDF ファイルを、
mass@biken.osaka-u.ac.jp宛てに添付にてお送りいただきますようお願いいたします。

以上